

十八
親和

Juhachi
Shinwa
Art Gallery

アート
ギャラリー

学芸員
便り

当館で所蔵する作品を紹介します



▲染付蝦蟇仙人広口花瓶
H30×φ23.5cm 口径:φ23.5cm 高台:H0.5×φ11.5cm

※三川内焼は2016年4月、「日本磁器のふるさと肥前」構成文化財の一つとして日本遺産に認定されています

16世紀末の文禄・慶長の役を契機に、九州各地には数多くの窯業地が生まれました。そのうちの一つに平戸藩窯としての歴史を有する三川内焼があります。平戸藩主・松浦鎮信によって平戸島中野(現、平戸市山中町)に開窯された後、現在の佐世保市東部の三川内地区へ移り発展しました。藩の手厚い庇護を受けて確立されていった、高い技術と洗練された意匠による磁器は、平戸焼として将軍家への献上品やヨーロッパへの輸出品として珍重されました。

「染付蝦蟇仙人広口花瓶」は、広く大きな口と胴部をきゅっと絞った特徴的な器形の中に、枝垂れる柳とその下に座する二人の仙人を巧みに配しています。中国に伝わる蝦蟇仙人は妖術で蝦蟇を操るとされ、鉄拐仙人は口から魂を吹き出す術を操るとされています。本作でも、左側の鉄拐仙人の口元から渦を巻いた煙のようなものが右上に伸びていく様が描かれています。

三川内焼の染付は中国のこどもの姿を描いた唐子絵が有名ですが、本作のような細かな描写を行う絵画的な意匠も知られています。本作は肥前地域の陶磁器を産地ごとに紹介している陶磁器展示室2で公開しています。

私が解説します



十八親和
アートギャラリー
学芸員

藤松 綾子 さん

十八親和
アートギャラリー

開館時間: 10:00~16:00(入館は15:30まで)

休館日: 日・月・祝日、年末年始(12/31~1/3)

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

鑑賞無料

TEL0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分

JR佐世保駅から徒歩約20分

